

実施報告書

氏名 仙石泰週 所属 地域教育文化学部 児童教育コース 1年

派遣先大学 ベトナム国家農業大学

派遣期間 2016年2月19日～3月14日

・日本語教室での指導内容

日本語教室での指導内容は主に、スリーエーネットワークから出版されている「みんなの日本語」を教科書として使用した授業と、教科書を使用しない授業を行いました。

教科書を使用した授業では、クラスの学生をそれぞれ教科書の進み具合でグループ分けをし、日本人1人、ベトナム人の学生2～3人を1つのグループとして授業を行いました。各グループのレベルとしては、ひらがなを勉強するグループから日常会話くらいは話すことが出来るグループまで幅広いレベルでした。ひらがなのグループは、「あ」から「ん」までの書き方、読み方を何度も練習しました。その他のグループでは、1回の授業で1つの課を終わらせるくらいのペースで進め、まずその課の新出単語の読み、例文の読み、その課で習う文法を使った会話練習、教科書の練習問題と進めていきました。教科書を使用した授業で最も気を付けたことは、「読み」です。現地の学生は、日本語の意味や、文法などは教科書で勉強することが出来ます。しかし、日本人が話す日本語の「読み」はなかなか聞く機会がありません。だから、「読み」を中心とした授業を現地の学生たちは望んでいたため、何度も何度も教科書を読むということをしました。また、上級者のグループになると、その日の教科書の内容がある程度終わると、「読み」から発展させて会話をすることもありました。学生たちにとっては、日本語で会話をするだけでも十分勉強になるという声も聞くことが出来ました。

教科書を使用しない授業では、一番盛り上がったのは「しりとり」でした。最初は一人ずつ順番に答えていたのですが、だんだん分かった人から答えていくようになり、「ん」がつく言葉が出ると「あ～、ちがう～」とみんなで盛り上がった授業でした。しかし、このような授業は、クラスの学生たちがある程度日本語を理解できていないとできないので、学生のレベルをあらかじめ確認しておく必要があります。

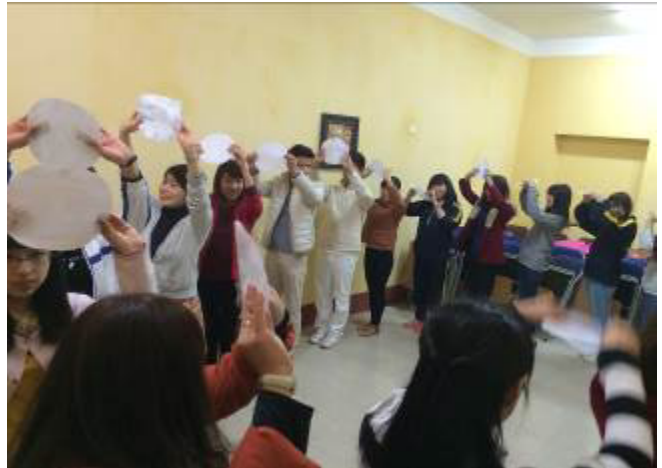
・日本語教室以外での現地での交流活動

日本語教室以外での交流活動としては、ベトナムの学生と「花笠踊り」を踊ったことです。私自身、花笠を踊るのは初めてでした。現地の学生も大半が初めて花笠を踊る人たちで、日本語のレベルも様々で、日本語と英語を使って、何度も何度も



も踊って見せて、練習しました。一通り練習した後に、みんなで輪になり花笠踊りを踊りました。練習時間が短く、踊りを覚えられていない学生もいましたが、みんなで楽しく踊ることが出来ました。そして、花笠踊りを教えてくれたお礼に現地の学生がベトナムの踊りを見せてくれました。言葉ではなく「踊り」での交流が出来ました。

また、ベトナムに滞在中の3月8日が国際女性デーで、日本では有名なイベントはありませんが、ベトナムでは、女性に花やお菓子をプレゼントするという日でした。



私も、周りのベトナム人女性達から、国際女性デーについて説明され、「私達はいつもご飯とかいっしょに食べているのに、何ももらえないのはおかしいねえ」と言われ、ほとんど無理矢理、花をプレゼントさせられました。でも、喜んでもらえていたのでよかったです。日本でも女性に花をプレゼントするということはしたことがなかったため、非常に良い経験となりました。

・プログラムに参加した感想

今回のプログラムでは、学生や社会人あらゆる世代の日本人の日本語の授業を見ることが出来ました。二回目のプログラム参加となる4年生や、山形大学の事務の方の授業、また、ベトナムにある日本の会社で働いていてベトナム語も話すことが出来る方が授業を手伝ってくれて、自分が今までしていた授業とは異なった授業を見ることが出来ました。色々な人の授業を見たことで、とても刺激になりました。

・自分の目標の達成度や努力した経緯など

今回私は、現地の学生の日本語に対して細かいところまで指導することが目標でした。そのために、授業中には「が」や「を」の使いかた、動詞の活用の間違いを細かく指摘しました。ある程度日本語を勉強している学生は間違いの癖がついてしまっていて、なかなか間違いが直らない学生もいました。そんな学生にも何度も何度も正しい日本語を教えめました。今回は前回のプログラムに比べ根気強く日本語の指導に取り組みました。

・今後の展望

前回、今回とベトナムを訪れてみて、現地の学生は私達が思っているより日本のことについて知っているように感じました。そして、日本についてより深く知りたがっていました。だから、次回ベトナムを訪れる際には、私自身日本に関する知識をより多く身に付けて訪れたいと思います。今回、ベトナムを訪れたときは、「日本のお祭り」について授業をしたことがありました。この時、「なぜこの祭りがあるか?」「いつ祭りが行われているのか?」といった質問が出ましたが、だいたいのことしか答えられず、詳しいことは答えることが出来ませんでした。このようなことがないように、日本で日本に関する知識をたくさん身に付け次回またベトナムを訪れようと思いました。